

「私しか知らないこと、僕しか知らないこと」

対象児：5歳児 ふじ組

作成日：2021/09/22

作成者：山川大地

○保育のねらい：友達や保育者と話し合ったり発表したりする中で自分の気持ちが伝わる喜びを感じる。



○振り返り

1学期から子ども達と一緒に考えたり話し合ったりする時間を大切にしてきました。始めは「僕が」「私が」と自分の気持ちを一生懸命伝えてくれたり、決め方もじゃんけんやルーレットと様々でした。また、恥ずかしさや緊張でうまく伝えられない場面もたくさんありました。そんな時は、「〇〇くんと同じだった人?」「同じじゃなくてもいいなって思った人?」など、話し合う空間にしっかりみんなが参加できるように心掛けています。すると、少しずつではありますが、拳がる手が増えてきたり「あ、僕と一緒に」「そっちもあったー」と子ども達から共感する、共感し合う空間が生まれたり子ども達を中心に話が広がる時間ができました。

相手に気持ちを伝えるということは、緊張があったり不安があったり大人でも勇気が必要になることがあると思います。自分なりに伝える子ども達の姿を認めながら、伝わる喜びはもちろん、友達と思いが一緒であることを喜んだり、友達の発言から新しく発見したりと「私しか知らないこと、僕しか知らないこと」をたくさん聞くことができる空間をこれからも大切にしていきたいと思います。

(自立心、協同性、道徳性の芽生え、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)